

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38117
事業名	介護保険施設開設準備経費補助金					
評価担当課	所属名	保)高齢保健福 介護保険課				
	課長名	池田 清美	担当者名	櫻井 敦史	電話番号	01-211-2972
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	多額の経費を要する特別養護老人ホーム・介護老人保健施設の開設等にあたり、備品購入費等を補助し、円滑に事業を開始するための側面的支援を行う。			
		長期	団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年度に向けて、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設の開設等が計画通りに進むよう支援していく。			
	取組内容	<p>公募で選定された特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の開設等予定事業者に対し、施設開設に係る準備経費(備品購入費等)の補助を行う。</p> <p>①令和2年度特養整備事業者 1施設(定員100名) 追加公募で選定され、開設時期が遅れるため令和2年度事業者の一部も対象。</p> <p>②令和3年度特養整備事業者 施設数未定(定員200名) ※平成30年度から事務実施主体が道から政令市に移管。</p>				
実施結果	<p>広域型特別養護老人ホーム(定員各80~100名) 【令和2年度整備事業者】1施設 ※令和3年度整備事業者2施設は、工事着工等の遅れにより、令和4年度予算にて対応。</p>					
事業実施における工夫点	整備希望事業者に対し、事業着手前にスケジュール、留意事項や制度等を教示。					
対象者	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設開設等予定者	開始	令和3年度	終了	令和5年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市介護サービス提供基盤等整備事業補助金交付要綱 令和3年度介護サービス提供基盤等整備事業費交付金交付要綱					
他都市の状況	各政令市においても交付金を活用して補助を実施している。(川崎市、横浜市等)					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	226,530	252,000	83,900	319,000	
うち特定財源	226,530	252,000	83,900	319,000	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
人件費	1,440	1,440	1,440	1,440	
計(事業費+人件費)	227,970	253,440	85,340	320,440	
事業費の内訳	令和3年度決算	令和3年度介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の交付単価に、令和3年7月から令和4年7月の間に開設予定の3施設のうち、1施設の定員総数を乗じた。 令和2年度特養整備事業者1施設 839千円×100床=83,900千円 ※令和3年度整備事業者2施設は、工事着工等の遅れにより、令和4年度予算にて対応。			
	令和4年度予算	令和3年度介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の交付単価に、令和4年4月から令和6年10月の間に開設予定の施設定員総数を乗じた。 ①+②=319,000千円(※端数調整+180千円) ①令和3年度特養整備事業者2施設 839千円×180床=151,020千円 ②令和4年度特養整備事業者 839千円×200床=167,800千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	整備事業所定員数(着工数)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	270	300	100	380	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年7月から令和4年7月の間に開設予定の3施設のうち、予定通りに開設可能となる1施設に補助金を支給。2施設については、着工等の遅れにより、開設時期が遅れるため、令和4年度予算で対応。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	特養及び老健の創設や改築等を行う事業者に補助を実施している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	補助金の交付は、書類検査等を行い、工事の進捗状況による開設時期を確認した上で適切に実施している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	特養及び老健の整備には設備等の多額の費用を要するが、補助金を利用することにより事業者の負担額が抑えられる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	当該事業が必要な事業者に対し、要綱に基づいて補助金の支給ができたためである。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 「札幌市高齢者支援計画2021」に基づき、開設が遅れている令和4年度整備事業者2施設(200床)分、令和5年度整備事業者として公募している220床分、移転改築を予定している2施設(100床及び90床)分について、工事の進捗状況による開設時期を確認した上で補助金を交付する。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 令和4年度の交付単価839千円×定員数 ①令和4年度特養整備事業者 839千円×200床 ②令和5年度特養整備事業者 839千円×220床 ③移転改築事業者 839千円×190床			見直し効果額